

科目名 Subject	ファッション情報研究 Fashion Information Studies			教員名	森 秀男	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	2単位	
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	美容技術とデザイン力、すなわち美容における実践力			表現力、すなわち芸術における実践力		
	－			△		
科目の概要	美道5大原則を重視しながら「美しく生きるための必要な能力を身につけ、ファッション分野において、グローバルに活躍することを目的とする。」 ・ファッション情報に関する基本をマスターし、企画開発などの専門的な応用力が身につく。 ・社会環境やマーケット動向を把握し、その課題を見抜く能力を高める。 ・目標を設定し、その達成のために自主的に行動できるようになる。 ・多様な価値観や文化的な背景を持つ人々を理解・尊重し、コミュニケーションが取れる。 ・日本独自の伝統文化、美意識を生かして、国際社会において新しい風を起こせる。 ・時代を先取りしたビジネスコンセプトを創造し、価値ある事業を起こすヒントが得られる。 ・人々の生活をより豊かにし、業界の持続的な発展と国際社会の平和に貢献できる。 ・授業計画は、市場の変化、学生の理解度や進捗度により、多少の変更の可能性があります。					
授業方法	対面授業を基本とする。ただし新型コロナの状況によっては、オンライン授業もあり得る。					
授業の目標	1. ファッション情報に関する基本的で本質的な知識をマスターし説明できる。 2. 専門的な応用力が身につき、企画プランニングなどの実践的な技法を習得し実行できる。 3. ファッション業界の最新動向を把握し研究できる。 4. 情報の有効な活かし方を課題実習によって体得し応用できる。 5. 学生が自分自身のキャリアデザインをするためのヒントが得られ実践できる。					
時間外学習 (予習・復習)	1. 各回の授業の前週に、次回の内容を説明するので、学生はリサーチや情報収集をして準備を整える。(60分) 2. 当日の授業内容をしっかりと振り返り、ブランド、ショップ、企業、ネット情報などを調べて十分に咀嚼する。(60分) 3. 詳細は、授業内で説明する。					
教科書・教材	教科書	特になし				
	教材	教室や学校の使用可能なファッション雑誌等を活用する。プリント資料を配布する。				
	使用設備・備品	学校の設備・備品を使用する。				
	参考文献	必要に応じて学生に提示したり提供する。				
評価方法	・「実習の企画ワーク」と「講義の理解度」等によって評価する。 ・「平常点20%、企画ワーク60%、小テスト20%」の配点とする。					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法						
	企画シートに対してコメントを返します。					
履修上の注意	・毎回、実習ワークを行うので、欠席や遅刻をしないように心がける。 ・ファッション雑誌を使用するか、インターネットによる写真や図表を入手することも可。					
本科目履修と関連する資格	資格名	特になし。				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	オリエンテーション（授業内容）、ファッション情報の概要、ファッション情報とその分類、ブランド企画の説明	授業の内容とファッション情報研究の重要性を説明でき、今期の学習に生かすことができる。企画の基本を自分の言葉で解説できる。	学んだ内容を反芻し理解を深める。次の授業内容に沿い、ネットサイト等で情報収集を行い準備する。詳細の説明は授業である。
第2回	ファッション・トレンド情報1 ・ファッションディレクション&スタイリング ・ブランド企画（ターゲット分類）解説	ファッション・ディレクションの概念とスタイリングの関係性を企画に活かすことができる。ターゲット分類の実際の企画ができる。	学んだ内容を反芻し理解を深める。次の授業内容を基に、ショップ等でリサーチや情報収集して準備する。詳細の説明は授業である。
第3回	ファッション・トレンド情報2 ・ファッションカラー情報の種類と特性の解説 ・ブランド企画（ターゲット分類）ワーク	カラー情報の種類とその特徴をカラー計画に生かすことができる。ターゲット設定をして企画作業をすることができる。	授業で学んだ内容を反芻し十分に理解する。次の授業内容を基にファッション雑誌等で情報収集して準備する。詳細な説明は授業である。
第4回	ファッション・トレンド情報3 ・ファッション・イメージと分類の解説 ・ブランド企画（ブランド概要）解説	ファッション・イメージの意味と分類をビジュアル構成に活用できる。ブランド概要（コンセプト等）の企画をすることができる。	学んだ内容を反芻し十分に理解を深める。次の授業内容を基に、ネットサイト等で情報収集をして準備する。詳細な説明は授業である。
第5回	ライフスタイル情報1 ・ライフスタイル等の概念とその分類の解説 ・ブランド企画（ブランド概要）ワーク	ライフスタイル等の意義や内容を生活提案に活かす。ブランド概要（コンセプト等）の企画を完了できる。	学んだ内容を反芻し十分に理解する。次の授業内容を基にライフスタイル雑誌等で情報収集をして準備する。詳細な説明は授業である。
第6回	マーケット情報1 ・ラグジュアリーグループ1の解説 ・ブランド企画（ブランド特性）解説	ラグジュアリーブランド戦略をグローバルなビジネスセンスに生かすことができる。ブランド企画（感性分析）ができる。	学んだ内容を反芻し十分に理解を深める。次の授業内容を基にファッション雑誌等で情報収集を行い準備する。詳細な説明は授業である。
第7回	マーケット情報2 ・ラグジュアリーグループ2の解説 ・ブランド企画（ブランド特性）	ラグジュアリーグループ2の特徴を学び、グローバルなビジネスセンスを磨く。ブランド企画（ポジショニング比較）ができる。	学んだ内容を反芻し十分に理解を深める。次の授業内容を基に、実際のショップ等で情報収集を行い準備する。詳細な説明は授業である。
第8回	マーケット情報3 ・海外デザイナーブランドの解説 ・ブランド企画（ライフスタイル分析）解説	海外の著名ブランドの歩みと現況を通してデザイナービジネスの説明ができる。ブランド企画（ライフスタイル分析）ができる。	学んだ内容を反芻し十分に理解を深める。次の授業内容を基にファッション雑誌で情報収集し万全の準備する。詳細な説明は授業である。
第9回	マーケット情報4 代表的なSPA企業の解説、ブランド企画（ブランドイメージ）解説	SPAの概念と事業内容を通して、リテール企業の経営や販売手法を説明できる。ブランド企画（ブランドイメージ）を完了できる。	授業で学んだ内容を反芻し十分に理解を深める。次の授業内容を基に、ファッション業界紙等で情報収集をして準備する。
第10回	マーケット情報5 ・有力なネット&サービス系企業の解説 ・ブランド企画（シーズン企画）解説	ネット&サービス系企業の事業運営を、将来の起業に生かせる。ブランド企画（シーズン企画）の作業に入ることができる。	授業で学んだ内容を反芻し十分に理解を深める。次の企画ワークのために、ネットサイトなどで情報収集等を行って万全の準備する。
第11回	ブランド企画 ・シーズン企画計画のワーク作業	ブランド企画におけるシーズン企画の作業を進めることができる。	学んだ内容を反芻し理解を深める。次の授業のために、店頭調査等による情報収集を行いしっかり準備する。詳細な説明は授業である。
第12回	ブランド企画 ・カラー計画の解説	ブランド企画におけるカラー計画を進めることができる。	授業で学んだ内容を反芻し理解を深める。次の授業のために、ファッション雑誌等で情報収集をして準備する。詳細は授業内で説明する。
第13回	ブランド企画 ・カラー計画のワークをする	ブランド企画におけるカラー計画を完了できる。	学んだ内容を反芻し十分に理解する。次の授業のために、ファッション業界紙等で情報収集を行い準備する。詳細な説明は授業である。
第14回	ブランド企画 ・企画ワークの完成へ向けて準備する	企画のワークシートを完了し、提出の準備をすることができる。	授業で学んだ内容を反芻し十分に理解する。次回で企画ワークが完成できるように計画的に進める。詳細な説明は授業である。
第15回	授業の最後のまとめ テスト 企画シート提出	授業の総括によって、学生は自分のキャリア設計に生かすことができる。テストは記述式で回答でき、企画シートは全て提出できる。	半期の授業で学んだ内容をしっかり反芻し、卒業後のキャリアデザインに活用する。